

2025.9月号

# おすすめ本

をご紹介します

ある日、文化祭のためにつくった美術部のジオラマが壊される事件が起きた。文化部部長が犯人探しに乗り出すが…。部をまとめるのに悩んだり、片思いに苦しんだりする姿に、わかる！と共感を覚える一冊。他に運動部部長会議編も掲載。



『部長会議はじまります』  
吉野 万理子／作 朝日学生新聞社

創立99周年を迎えた中学校で代々語り継がれる伝説のヒーロー「エンドーくん」。校内のあちらこちらに残された「エンドーくん」にまつわる落書きの言葉をきっかけに、悩みや葛藤を抱える教師や生徒が一步步歩み出していく。伝説なったエンドーくんは誰？



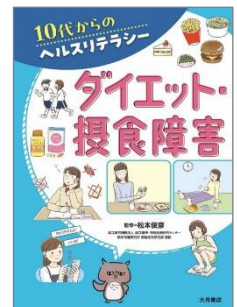
『伝説のエンドーくん』  
まはら 三桃／著 小学館

1947年インドはイギリス領から今のインドとパキスタンに宗教の違いを理由に分かれて独立した。なぜ宗教が違うだけで争いが起きるのか？12歳少女が亡き母に宛てて書いた日記形式で物語が進む。今でも世界中で争いは起きていて、平和について考える1冊です。



『夜の日記』  
ヴィーラ ヒラナンダニ／著  
山田 文／訳 作品社

「やせればキレイになれる」「私は太っていて醜い」そう思っている人、いませんか？この本であなたが本当に太っているか確かめながら、健康的なダイエットの仕方や摂食障害の危険を知ろう！



『ダイエット・摂食障害』  
松本 俊彦／監修 大月書店

編集：袋井市立図書館